

# 「ゆきまんてん」ブランドデザイン作成等業務委託 ＜企画提案指示書＞

## 1 業務の目的

「ゆきまんてん」の名称を体現する、消費者や流通関係者などの印象に残るロゴ・米袋デザイン・キャッチフレーズの作成と、プレデビューの令和8年に「ゆきまんてん」を県民に広く周知するイベントの開催を目的とする。

## 2 業務委託期間

契約締結日から令和8年11月30日

## 3 主な業務委託内容

- ① 「ゆきまんてん」のロゴ・米袋デザイン・キャッチフレーズを含めた全体のブランドデザインの作成
- ② 全体ブランドデザインを踏まえた資材の作成
- ③ 県内で実施するプレデビューイベントの開催

## 4 業務内容

下記（1）～（3）の項目に沿って留意事項を確認のうえ企画提案を行うこと。

### （1）「ゆきまんてん」のロゴ・米袋デザイン・キャッチフレーズを含めた全体のブランドデザインの作成

- ① 「ゆきまんてん」の全体的なブランドデザイン（ロゴ・米袋デザイン・キャッチフレーズ）の作成

#### 【ブランドデザイン作成の仕様及び条件】

- ・ ロゴについては、縦用・横用の2種類とし、各々3案ずつ計6点、キャッチフレーズ7案を提案すること。
- ・ ロゴデザインは未発表で、オリジナル作品であるとともに、既登録商標又は類似商標登録が無く、商標登録が可能なものであること。
- ・ 納品形態は、作成原稿のペーパー及びデジタルデータとする。
- ・ デザインは5月中旬に1度、6月上旬に1度提出を求める。
- ・ 著作権については県に帰属すること。

#### 【提案にあたっての留意事項】

- 提案書には作成方針、デザイン作成者、作成者の経歴並びに実績を必ず記載することとし、現時点でのデザイン案の提示は不要とする。
- 「ゆきまんてん」の概要
  - ・ 「ゆきまんてん」は令和9年にデビューする山形県の新たな水稻品種（詳細は別添資料参照）である。
  - ・ 販売価格帯は「つや姫」「雪若丸」に次ぎ、「はえぬき」と同程度を想定している。
  - ・ 主な販売ターゲットは「はえぬき」の購買層であることから、提案にあたっては「はえぬき」のニーズ、市場評価を十分に調査すること。

- ② 制作した「ゆきまんてん」のロゴと、「つや姫」「雪若丸」の既存ロゴを組み合わせた山形県産米3品種統合のデザイン制作。

**【提案にあたっての留意事項】**

- 3品種統合デザインについて
  - ・ 「つや姫」「雪若丸」と併せて山形米としてのPRが想定されることから、それぞれのブランドを踏まえた上での3品種統合した場合のデザインに留意すること。

**(2) 全体のブランドデザインを活用した資材の制作**

- ① 資材については、のぼり200枚(W450×H1800 シルク印刷 生地ポンジ)、リーフレット5万部(仕様112×112mm ページ4ページ 仕上げ加工二つ折り)のデザイン・制作を必須とし、その他米穀販売に効果的につながる資材があれば提案すること。

**【提案にあたっての留意事項】**

- のぼり及びリーフレットの仕様について  
仕様が異なる提案を行う場合は、提案内容が仕様と同一であることを事前に事務局に確認すること

**(3) 県内で実施するプレデビューイベントの開催**

- ① 県内イベント会場におけるプレデビューイベントの企画・運営  
② ニュースリリースの作成・配信等、メディア向けPR業務の実施

**【提案にあたっての留意事項】**

- 県民の興味関心を喚起すること
  - ・ 「ゆきまんてん」の販売や喫食機会の提供により県民の興味関心を喚起するプレデビューイベントを企画・運営すること
  - ・ プレデビューイベントの時期は令和8年10月を予定することとし、具体の日程については、契約締結後に事務局と調整を図ること

○生育期の高温環境が課題となる中、**高温に強い水稲品種への切り替えが不可欠**であることから、新品種「**ゆきまんてん**」が令和9年にデビュー予定。

## 現状と課題

### 〈品種構成〉

・現在本県の主要品種の作付面積は「つや姫」「雪若丸」「はえぬき」の3品種が8割を占め、「はえぬき」が52%と最もシェアが高い。

#### ■主食用米の作付状況(R7)

品種	面積 (ha)	シェア (%)
つや姫	10,200	19
雪若丸	6,600	12
はえぬき	28,000	52
その他	9,300	17

### 〈高温による品質への影響〉

・令和5年の猛暑の影響で一等米比率が大きく低下。特に「**はえぬき**」の**品質低下が顕著**  
 ・令和6、7年の猛暑下では、生産者の水管理の徹底等により、高い一等米比率を獲得したものの、**生産者の不安感は強い**。

#### ■本県産米の一等米比率の推移 (%)

年度	R4	R5	R6	R7
全体	95.5	<b>41.8</b>	92.8	93.0
はえぬき	95.5	<b>31.9</b>	92.2	91.7

## 課題解決の方向性

・**高温に強い新品種の導入**により中長期的に高温耐性品種の作付け割合を拡大し、**さらなる山形県産米の安定供給体制の構築**を図っていく。

## 水稲新品種「ゆきまんてん」の導入

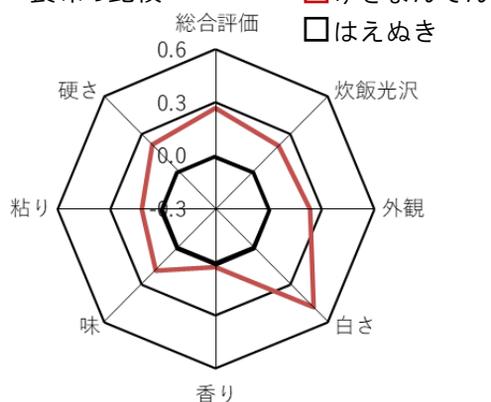
「ゆきまんてん」は「はえぬき」より ①高温登熟耐性が強い ②食味が良い ③収量性が高い



#### ■栽培特性の比較

	ゆきまんてん	はえぬき
高温登熟耐性	やや強	中
収量 (kg/10a)	661	587

#### ■食味の比較



#### 今後の取り組み

・下記の振興方針案により、生産・販売それぞれの評価を見極めながら作付の拡大を進めていく。

## 「ゆきまんてん」振興方針（案）

### 生産の考え方

- 品質・食味・収量の高位安定生産を基本とする。
- 生産現場における栽培の評価を見極めながら作付拡大を進めていく。
- 「つや姫」「雪若丸」のような生産者認定・生産組織登録や出荷基準といった要件を設定せず、生産を拡大。
- 主食用米に限定せず、非主食用米（輸出用米・加工用米等）としても生産。
- 既存品種からの転換に向け、計画的な種子生産を実施。

### 販売の考え方

- 実需者等からの評価を見極めながら販路拡大に取り組む。
- 輸出用や加工用等、実需者の幅広いニーズに対応。
- 県内を中心とした家庭用や、県内外の大手実需者による業務用の用途を想定。
- 実需者・消費者等から幅広く認知されるように、販売対策を講じる。